

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	できている	できていない	できていない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている		○			一人一人の人格を尊重し、「底なしの親切」と「よろこび」をモットーとし、地域福祉への貢献を目指すという法人理念を絶えず心に刻みサービスを提供している。	利用者のことを真に考えたサービスを提供している。
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			一人一人が十二分に理解しているとは言えないが、センター会議等を通じて日々認識を新たにしようとする。	管理者と職員の連携ができています。
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			スマケアという通常使用しているソフトのユーザー会議に出席し、他事業所の事例を学んだり、ソフトの新機能を積極的に日々の業務に取り入れるようにしている。	医療介護連携推進会議では事例検討なども積極的にされており、職員の教育にも繋がっている。
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			経験の浅い職員には繰り返し同行を行っている。	
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			月に1回、当事業所の計画作成責任者と連携先である訪問看護ステーションとのミーティングの機会を持っている。	月1回のミーティングやスマケアなどを通して介護職と看護職の連携が図れている。
(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適かつ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			定期巡回とはいえ、どうしても性別等による拒否がある場合などは、利用者の希望に応じて配置を調整している。	
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を随時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			3か月に1回の割合で地域住民やサービス事業者等も含めた、医療福祉連携推進会議を開催し、様々な事例を紹介している。	医療福祉連携推進会議で検討した内容がケアに生かされている。
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				連携先である、訪問看護ステーションとクラウドサービスで情報共有をしたり、日々の業務の実施記録を関係者(訪問看護ステーション、ケアマネージャ、家族)と共に共有している。	スマケアでの情報共有だけでなく、必要時電話や対面で連携を図り迅速に対応できている。
(5) 安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			サコージュにおいて、年2回消防の指導の下、火災訓練を行っている。夜間や、日中などその時々場面を想定した訓練を行っている。	
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				文書の保管に関しては、保管先のキャビネットの扉を絶えず閉めたり、処分するときもシュレッダーによる処分をし、不用意に情報が漏れることがないようにしている。	

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	できていない	できていない	できていない		
II 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				ケアマネージャや利用者、利用者家族の希望や、一日の生活上の流れを意識した訪問時間を提案し、サービスを	
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				訪問看護ステーションからのアセスメント、それを基にしたサービス提供、モニタリングを行う事で共有やつきあわせが行われている。	普段の利用者の状況を把握している介護職からの情報をもとに、医療の視点でアセスメントを行い、情報共有できている。
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている			○		残存能力の維持、できる事の見極め、職員間でそれを共有することに動いている。	利用者の自立支援を考えた対応ができている。
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている			○		現在処方されている薬を確実にのむことや、身体機能的にできる事を看護のアセスメントで知り、自立支援を心掛け心身機能の向上に努める計画を作成している。	
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				急な受診時、体調不良時などその時々に応じた柔軟なサービス提供を行っている。	夏の暑い時期の水分補給や室温の管理など、既定のプランに縛られることなく、自分たちの裁量で、提案していくことが大事である。
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				サービス提供時毎にアセスメントの視線をもち、それらから得られた情報を元に月に1回のモニタリングを行っている。	
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている			○		陰部の発赤がなかなか軽減しない利用者に対して、訪問看護ステーションからのアドバイスをいただいた。利用者について、軟膏塗布よりも、発赤ができないようにすることが大切であるとの事であった。そのためには排便のコントロールが必要との判断で、訪問看護を利用し、皮膚トラブルの軽減をはかっている例がある。	
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている			○		訪問看護ステーションには随時に相談をしたり、クラウドサービスにより指示を仰ぐ場合もある。	疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言を行っている。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている			○		契約時に重要事項説明書を読み上げ、理解を求めている。	
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている			○		ケアマネージャからのケアプランに基づいて、随時、訪問介護計画書を作成し、説明を行っている。	
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている			○		上体の変化や日常生活上の課題がある場合は、その改善策などを利用者や家族に提案している。	

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	でほぼできている	できていないことが多い	できていない		
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○			希望に添えない場合や、当事業所から新たな訪問時間を提案するときは、必ず説明、報告している。	
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○			利用者の新たな要望や、状態の変化により、新たなサービス提供時間が必要と思われた場合は、随時ケアマネジャーに提案している。	
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				サービス担当者等に等には必ず出席し、利用者の状況などについて報告説明を行っている。	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		○			年に複数回地域ケア会議が開催される場合は、参加している。	
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		○			地域連携室などで開催される退院前カンファレンスに参加している。	
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)		○			申し送りを確実にするため、記録におとしたり、報告することは大切である。自分立ちだけで抱え込まずに地域の人達にもつなげていくことが大切である。	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			議事録を作成し回覧している。	
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			地域に向けて、あるいは居宅に向けて、出前講座を開催している。	当該サービスの概要や効果等の出前講座等を行い広報活動ができています。
(2) まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○		十分に理解しているとはいえず。	
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				現在は1対2の割合で地域に出ている。地域に出ていく方が多くなっている。	地域への訪問を積極的に行っている。
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)			○		アンケート調査への協力を行っている。地域の福祉推進員の皆様にサービスについて説明・紹介している。	

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	できている	できていない	できていない		
Ⅲ 結果評価 (Outcome)								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○				目標を設定し、月に1回自己評価を行っている。	
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			日々の実施記録を希望者に公開することにより、遠方の家族からも安心を得ていると評価をいただいている。	